

案件化調査：環境・エネルギー・廃棄物処理分野

ケニア 太陽光発電を用いた水浄化事業調査

企業・サイト概要

- 提案企業 : 株式会社ウェルシィ・日本テクノ株式会社共同企業体
- 提案企業所在地 : 東京都
- サイト・C/P機関 : Thika/Mataara・給水サービス委員会 (AWSB)、Machakos/Mamba・同左 (TaWSB)

ケニアの開発課題

- 家屋敷地内で水道にアクセスできる人口は19%にとどまる。
- 住民は飲料水を含む生活用水を不衛生な水源に頼っており、疾病の要因となっている。
- 電力供給が十分でなく、水の浄化に必要な電力を確保するのが困難な地域が多い。

中小企業の技術・製品

- 小規模分散型水処理・供給システムの設計、調達、施工、販売、維持管理のノウハウを提供
- 汚濁物、バクテリア、ウィルス、鉄、マンガンなどの除去が可能
- 太陽光発電と分離膜を組み合わせた技術により、無電化地域でも水の浄化が可能

提案されたODA事業及び期待される効果

- 無償資金協力や技術協力などを活用し、ナイロビ及びその近郊を管轄する給水サービス委員会 (WSBs) に対して小規模分散型給水システムを導入すると共に維持管理の体制を構築することで、水道事業の改善に寄与する。

日本の中小企業のビジネス展開

- 部材調達やマーケティング等を委託できる現地パートナーを確保し、事業の現地化を図る。
- 現地化と共に販売コストを削減し、ナイロビ以外の水道公社や民間企業へも事業を拡大する。

